

## &lt;白金標準、8250 円を上回るのも時間の問題・・・&gt;



(出所：オアシス)

FOMCで世界最大の経済規模を誇る米国経済の来年の成長率を従来の1.8%から2.3%へ上方修正を行い、供給不足の要因を受けたシルバーや銅価格が高値を更新している。また世界的に事業を展開するドイツのヘレウス社は、2026年予測において2030年までの最新の5カ年計画でグリーン水素が取り上げられている中国をはじめ、多くの国々が水素セクターの需要成長回復を見込んでいると発表、またレポートではプラチナの供給不足が縮小すると予想される2026年には、プラチナ平均価格が1オンス：1300ドル～1800ドルの間で推移すると推定しているが、既にNY白金は週末に一時1804.3ドルを試すなど、高値追いを継続する可能性は高まっている。またWPIC第3四半期PGM需給報告で、2026年のプラチナの需給バランスを0.6トンの供給過剰と指摘しているが、中国の広州先物取引所で取引が開始されプラチナとパラジウムの先物取引における現物需要を考慮していないと示唆しており、既に上海黄金取引所の白金の出来高を上回る動きを見せるなど、広州先物取引所の好調な取引から考えても2026年の需給バランスは供給不足に傾く可能性が高いと思え、週末に8177円まで高値を試した白金標準は、今年の高値である8250円を試すと思われる。

## &lt;テクニカル&gt;

白金標準先物の週足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDが上昇し、シグナルも切り上げている。RCIでは短期が上昇し、長期は上昇している。特に週足が指数平滑移動平均線のレンジを上回っており、強気維持の動きに思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に關し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,740,000 円(2025 年 12 月 15 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあります。その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 108,240 円(2025 年 12 月 15 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引に

についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間: 平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あつせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター

<https://www.nisshokyo.or.jp>